

議長定例記者会見（平成28年2月定例会閉会后） 概要

日 時：平成28年3月23日(水)

午後3時30分～午後3時58分

会 場：議会第1会議室

出席者：福井章司議長、武藤恭博副議長

○議長からの発表

1 平成28年2月定例会の総括

(1) 一般質問について

28人の議員が登壇したが、時間を有効に使って議論が行われていたように思う。(議員1人当たりの質問時間＝平均54分弱)

今回、6名の議員が「少年スポーツのあり方」をテーマに取り上げた。これは教育委員会の少年スポーツの過熱化防止策の実施における手続き論的な部分について問題提起されたものであり、今定例会の特徴的な動きの一つであった。

(2) 常任委員会の審査について

文教福祉委員会では、一般質問等での議論を受けて、「「少年スポーツのあり方」に関する決議」が提出され、経済産業委員会と建設環境委員会で、当初予算議案に対する附帯決議が可決された。これも今議会の特色だった。

また、今回の委員長による口頭報告は、経済産業委員会と建設環境委員会で長かったが、全体でも4常任委員会の合計で1時間強を要した。

今回は当初予算議案を含む審査ということで、非常に熱心な議論が行われた。

(4) 佐賀市議会の今後の予定について

①次回定例会：6月10日（金）開会予定

②議会報告会：5月～6月 市内9カ所にて実施

今回は意見交換をグループ分けして実施

※参加者が少ない場合は全体での意見交換

○記者との主な質疑応答

【問】就任されて2回目の定例会となったが、会派が分かれて、調整が困難となっていないか。

【議長】各会派の代表者を窓口として調整を行うことになるが、そのシステムは十分機能している。時間とともにお互いに話し合える雰囲気はできてきていると思う。

【問】今日の本会議前に、経済団体等からオスプレイ配備に関する要望書が提出されたと思うが、それを受けての対応は。

【議長】正副議長で受けたものを、まずは全議員に示し、特別委員会の中で粛々と議論を進めていくというのが基本的なスタンス（姿勢）である。

【 問 】 今日は受け入れを前向きにという要望書が2件提出されたが、反対の立場からの要望書の提出があったことはあるか。

【議長】 昨年7月13日に受けている。

【 問 】 オスプレイ配備の問題で、一部の市民からも賛成を前向きにとか、県議会で決議を出すなど、少し動きが加速化している中で、市議会でも前向きに動けというプレッシャーがあると思うが、どうか。

【議長】 この問題は県が決めることだというスタンスは変わっていない。県の動きに対して動くべきときは動かなければいけないだろうとは思いますが、やはり特別委員会を通してということになると思う。もちろん、情報収集は積極的に行うつもりであり、市議会だけが取り残されることがないように注意している。佐賀空港が所在する自治体の議会である以上、やはり何らかの動きに対しての対応は必要なときもあると思うが、県営空港でもあるので、県の動きに合わせながらということになると思う。

【 問 】 市議会として県の動きを待つということであるが、一方で各会派の意向もあるかと思う。仮に何らかの決議を行うとしたら、特別委員会で検討してということになるのか。

【議長】 特別委員会は独自のスケジュールで調査を進めていく一方で、各会派には別ルートでいろいろな情報も入ってくることになると思う。次の定例会の段階でどうなるのかというのは予測はつかないし、一般的な予測でしかないが、今回の県議会の動きが何らかの影響を与える可能性はあるだろうと思っている。